

燈す籠と書く燈籠の起源は中国大陸にあります。仏に燈火（ともしび）を供養する仏具であり、朝鮮半島では新羅統一時代に多く造立され、仏教伝来と共にわが国に伝えられました。

以来、仏堂や神殿の前にも立つようになりましたが、安土桃山時代以降、茶の湯の流行に伴い茶庭に石燈籠を配するようになり、庭園向きの新しい形が生み出されました。飛石と共に現代住宅の庭園にも多く用いられるロングベストセラーとなっています。



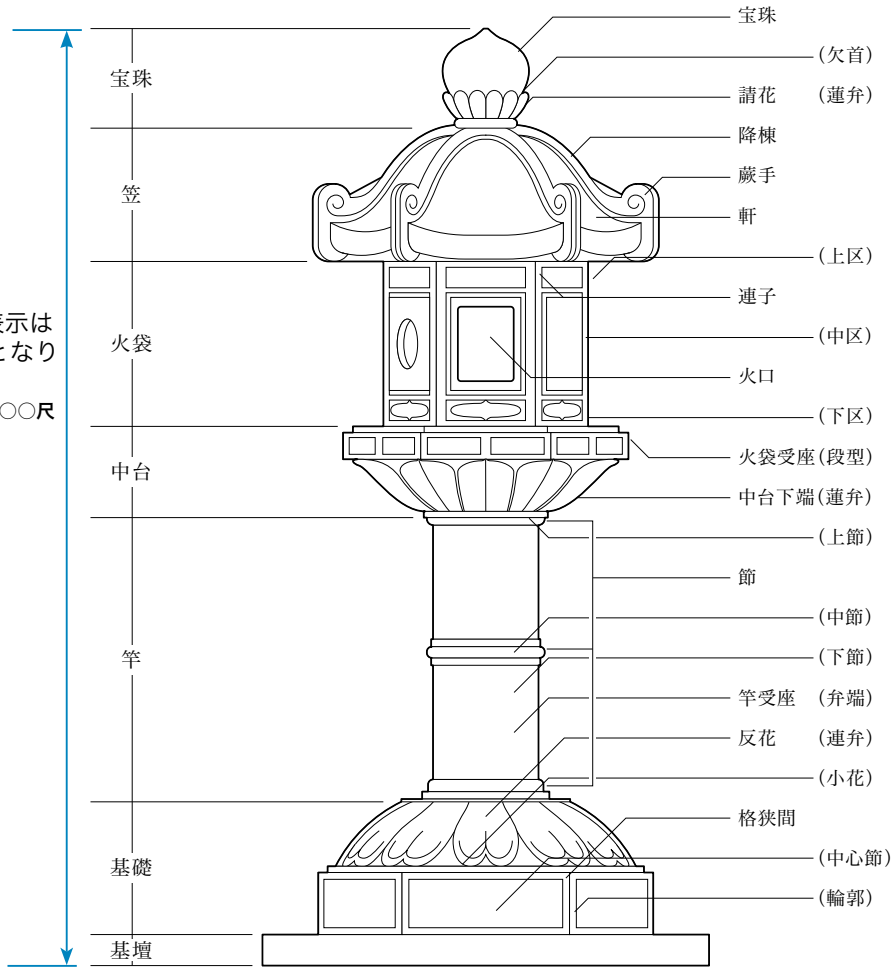
写真番号：PH-001

基本型石燈籠

- 1. 構成と部分の名称
- 2. 寸法表示

奥の院型の寸法表示は全高が寸法表示となります。

雪見型の寸法表示は笠幅の直径が寸法表示となります。



写真番号：PH-210



写真番号：PH-229

灯籠：輸入御影石



YGL-011 丸雪見
1.5尺 (40kg) 3.0尺 (320kg)
2.0尺 (90kg) 3.5尺 (500kg)
2.5尺 (170kg) 4.0尺 (750kg)
★寸法 = 笠幅



YGL-016 六角雪見
1.5尺 (40kg) 3.0尺 (320kg)
2.0尺 (90kg) 3.5尺 (500kg)
2.5尺 (170kg) 4.0尺 (750kg)
★寸法 = 笠幅



YGL-010 泉涌寺型丸雪見
1.5尺 (40kg) 3.0尺 (320kg)
2.0尺 (90kg) 3.5尺 (500kg)
2.5尺 (170kg) 4.0尺 (750kg)
★寸法 = 笠幅



YGL-008 古代丸雪見
1.5尺 (40kg) 3.0尺 (320kg)
2.0尺 (90kg) 3.5尺 (500kg)
2.5尺 (170kg) 4.0尺 (750kg)
★寸法 = 笠幅



YGL-014 古代角雪見
1.5尺 (40kg) 3.0尺 (320kg)
2.0尺 (90kg) 3.5尺 (500kg)
2.5尺 (170kg) 4.0尺 (750kg)
★寸法 = 笠幅



YGL-019 勸修寺
2.0尺 (150kg) 3.0尺 (300kg)
2.5尺 (200kg)
★寸法 = 笠幅

灯籠：輸入御影石



YGL-026 蘭溪
1.5尺（ 70kg） 2.5尺（200kg）
2.0尺（115kg） 3.0尺（350kg）
★寸法＝笠幅



YGL-054 春日
4.0尺（ 180kg）
5.0尺（ 360kg）
6.0尺（ 600kg）
7.0尺（ 800kg）
8.0尺（1200kg）
10.0尺（2500kg）
12.0尺（5000kg）



YGL-052 奥の院
6.0尺（ 800kg）
7.0尺（1200kg）
8.0尺（1800kg）
10.0尺（3200kg）



YGL-038 泰平
5.0尺（ 360kg）
6.0尺（ 600kg）
7.0尺（ 800kg）
8.0尺（1200kg）



YGL-034 利久
5.0尺（650kg）
6.0尺（750kg）
7.0尺（900kg）



YGL-031 濡鷺（ぬれさぎ）
5.0尺（ 360kg）
6.0尺（ 600kg）
7.0尺（ 800kg）
8.0尺（1200kg）



YGL-033 善導寺
5.0尺（ 450kg）
6.0尺（ 700kg）
7.0尺（1000kg）
8.0尺（1500kg）



YGL-036 永徳寺（関西型）
5.0尺（ 550kg）
6.0尺（ 800kg）
7.0尺（2000kg）
8.0尺（3100kg）



YGL-035 永徳寺（関東型）
7.0尺（2000kg）
8.0尺（3100kg）



YGL-030 柚木
4.0尺（ 200kg）
5.0尺（ 360kg）
6.0尺（ 600kg）
7.0尺（ 800kg）
8.0尺（1300kg）



YGL-041 東大寺（関東型）
5.0尺（ 850kg）
6.0尺（1250kg）
7.0尺（2000kg）
8.0尺（3100kg）



YGL-042 東大寺（関西型）
5.0尺（ 550kg）
6.0尺（ 800kg）
7.0尺（1200kg）
8.0尺（2000kg）



YGL-060 道風
5.0尺（ 360kg）
6.0尺（ 600kg）
7.0尺（ 850kg）
8.0尺（1250kg）



YGL-057 小屋棒
3.0尺（ 80kg）
3.5尺（110kg）
4.0尺（140kg）



YGL-059 時雨（関西型）
3.0尺（ 75kg）
3.5尺（105kg）



※形状は自然石のためカタログの写真と異なります。

生込燈籠



YGL-049 織部
2.5尺（ 60kg）
3.0尺（ 80kg）
3.5尺（120kg）
4.0尺（150kg）



YGL-044 六角生込
3.0尺（ 90kg）
3.5尺（120kg）
4.0尺（150kg）



YGL-050 八角生込
3.0尺（ 90kg）
3.5尺（120kg）
4.0尺（150kg）



YGL-047 鉢灯 Cタイプ
3.0尺（ 90kg）
3.5尺（120kg）
4.0尺（150kg）



YGL-051 松琴亭
（しょうぎんてい）
3.0尺（100kg）
3.5尺（120kg）
4.0尺（150kg）



YGL-061 水蛭
3.0尺（100kg）
3.5尺（120kg）
4.0尺（200kg）



YGL-075 道標 笠なし
3.0尺（70kg）
3.5尺（85kg）



YGL-074 道標 笠付 みよし型
3.0尺（70kg）
3.5尺（85kg）

置燈籠



YGL-025 岬
1.2尺（50kg）
1.5尺（80kg）
1.8尺（100kg）
2.0尺（120kg）
★寸法＝笠幅



YGL-021 寸松庵
（すんしょうあん）
1.2尺（60kg）
1.5尺（80kg）
★寸法＝笠幅



YGL-018 草屋
1.2尺（40kg）
1.5尺（65kg）
1.8尺（110kg）
★寸法＝笠幅



YGL-023 妙喜庵
1.2尺（50kg）
1.3尺（70kg）
1.5尺（90kg）
2.0尺（140kg）
★寸法＝笠幅



YGL-020 天下茶屋
1.2尺（60kg）
1.5尺（80kg）
1.8尺（110kg）
2.0尺（150kg）
★寸法＝笠幅



YGL-024 玉手
1.2尺（55kg）
1.5尺（80kg）
★寸法＝笠幅

層塔

仏教二千四百年の歴史とともに伝えられてきた仏塔の変遷がすなわち石造美術の歴史といえるでしょう。この数多い石造美術の歴史の中でも庭園の中に多く取り入れられてきたのが十三層塔を代表とする石塔の仲間です。
青空を背景にそそり立つ石塔を眺めると、なぜか悠久の生命とでもいう心持ちになり、気力が満ちあふれてきます。さらに人間の持つ理想が天に向かって昇ってゆくようで、身も心も委ねると心を暖かく包んでくれます。



YGL-083 十三重の層塔
6.0尺（1000kg）
8.0尺（1500kg）
10.0尺（2250kg）
12.0尺（3000kg）
15.0尺（5000kg）



YGL-088 五重の塔欄干付
6.0尺（ 260kg）
8.0尺（ 460kg）
10.0尺（ 900kg）
12.0尺（1600kg）



YGL-084 五重の塔
6.0尺（ 250kg）
8.0尺（ 450kg）
10.0尺（ 850kg）
12.0尺（1500kg）
15.0尺（3000kg）



YGL-090 五重の層塔 丸型
6.0尺（ 250kg）
8.0尺（ 450kg）
10.0尺（ 850kg）
12.0尺（1500kg）



YGL-089 五重の層塔 角型
6.0尺（ 250kg）
8.0尺（ 450kg）
10.0尺（ 850kg）
12.0尺（1500kg）
15.0尺（3000kg）

参考：写真は七重の層塔

出雲燈籠



YGL-135 出雲 琴柱
4.0尺 (150kg) 6.0尺 (800kg)
4.5尺 (240kg)
5.0尺 (500kg)



YGL-065 出雲 蘭溪
3.0尺 (100kg) 4.5尺 (430kg)
3.5尺 (150kg) 5.0尺 (700kg)
4.0尺 (250kg) 5.5尺 (930kg)



YGL-136 出雲 水ほたる
3.0尺 (140kg)
3.5尺 (200kg)
4.0尺 (250kg)



YGL-068 出雲 丸雪見
1.0尺 (15kg) 2.5尺 (230kg)
1.5尺 (50kg)
2.0尺 (120kg) ★寸法 = 笠幅



YGL-069 出雲 六角雪見
1.0尺 (15kg) 2.5尺 (230kg)
1.5尺 (50kg)
2.0尺 (120kg) ★寸法 = 笠幅



YGL-066 出雲 織部
2.5尺 (60kg) 4.5尺 (250kg)
3.0尺 (100kg) 5.0尺 (350kg)
3.5尺 (150kg) 5.5尺 (380kg)
4.0尺 (210kg) 6.0尺 (400kg)



YGL-067 出雲 小屋棒
3.0尺 (120kg) 5.0尺 (320kg)
3.5尺 (140kg) 5.5尺 (370kg)
4.0尺 (210kg) 6.0尺 (420kg)
4.5尺 (250kg)



YGL-077 出雲 藁束 (わらたば)
4.0尺 (250kg) 5.5尺 (620kg)
4.5尺 (350kg) 6.0尺 (780kg)
5.0尺 (450kg)



YGL-072 出雲 道しるべ 障子付
3.0尺 (80kg)
3.5尺 (120kg)
4.0尺 (170kg)



YGL-073 出雲 道しるべ 面取り 障子付
3.0尺 (80kg)
3.5尺 (120kg)
4.0尺 (170kg)



YGL-090 出雲 濡鷺 (ぬれさぎ)
4.0尺 (140kg) 5.5尺 (250kg)
4.5尺 (180kg) 6.0尺 (380kg)
5.0尺 (200kg)



YGL-091 出雲 金山
4.0尺 (140kg) 5.5尺 (250kg)
4.5尺 (180kg) 6.0尺 (380kg)
5.0尺 (200kg)



YGL-092 出雲 利久
4.0尺 (140kg) 5.5尺 (250kg)
4.5尺 (180kg) 6.0尺 (350kg)
5.0尺 (200kg)



YGL-093 出雲 善導寺
4.0尺 (200kg) 5.5尺 (350kg)
4.5尺 (250kg) 6.0尺 (550kg)
5.0尺 (300kg)



YGL-096 出雲 道風
4.0尺 (140kg) 5.5尺 (250kg)
4.5尺 (150kg) 6.0尺 (350kg)
5.0尺 (200kg)



YGL-097 出雲 苦屋 (とまや)
4.0尺 (120kg) 5.5尺 (200kg)
4.5尺 (140kg) 6.0尺 (350kg)
5.0尺 (160kg)

出雲燈籠



YGL-098 出雲 最明寺
4.0尺 (140kg) 5.5尺 (250kg)
4.5尺 (180kg) 6.0尺 (350kg)
5.0尺 (200kg)



YGL-099 出雲 ちょうけん
4.0尺 (150kg) 5.5尺 (350kg)
4.5尺 (180kg) 6.0尺 (450kg)
5.0尺 (250kg)



YGL-100 出雲 春日
4.0尺 (120kg) 5.5尺 (200kg)
4.5尺 (140kg) 6.0尺 (350kg)
5.0尺 (160kg)



写真番号: PH-227

天草燈籠



YGL-007 天草 自然木型



YGL-102 天草 足もと角型
3.0尺 (80kg)



YGL-103 天草 足もと丸型
3.0尺 (80kg)



YGL-104 天草 ともしび型
2.2尺 (50kg)



YGL-105 天草 立ともしび型
2.8尺 (100kg)



YGL-106 天草 天山型
2.5尺 (50kg)



YGL-107 天草 つくし型
3.2尺 (100kg)



YGL-108 天草 きのご型
2.2尺 (60kg)



YGL-116 天草 小屋棒
3.0尺 (80kg) 3.5尺 (90kg)



YGL-118 天草 珠光型
3.0尺 (100kg)



YGL-120 天草 丸雪見 (タルキ付)
2.0尺 (70kg) 2.5尺 (140kg)
★寸法 = 笠幅



YGL-121 天草 角雪見 (タルキ付)
1.5尺 (50kg) 2.0尺 (70kg)
★寸法 = 笠幅



YGL-115 天草 織部
3.0尺 (80kg) 3.5尺 (90kg)



YGL-117 天草 草屋型
3.5尺 (110kg) 4.0尺 (140kg)



YGL-119 天草 道標
2.0尺 (40kg) 2.5尺 (50kg)



YGL-127 天草 置草屋型
1.7尺 (60kg)



YGL-128 天草 岬
2.0尺 (50kg)

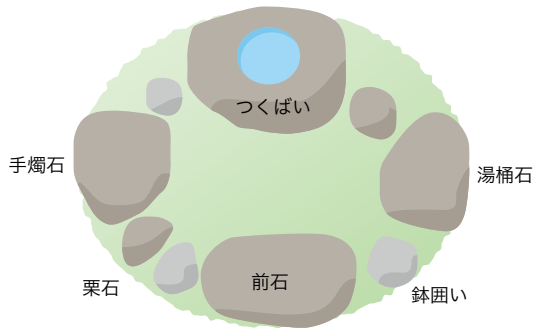


YGL-129 天草 玉手
1.7尺 (45kg)



水鉢

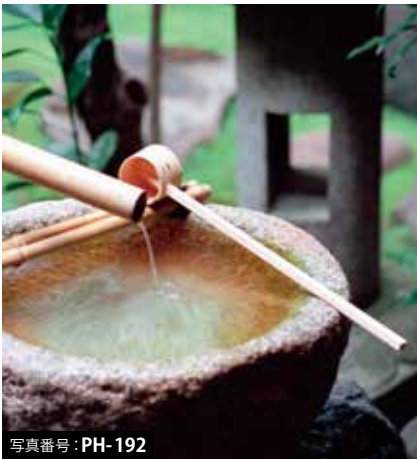
つくばいは茶事の時客人が席入りする前に手を洗うためのもので、手水鉢を中心として、前石（ぜんせき）、手燭石（てしよくいし）、湯桶石（ゆとうせき）などを配置した一組をいいます。水鉢の前につくばって手や口を清めることからその名がつけました。現在では茶庭以外にも草花を引き立てる脇役として日本庭園にはかかせない素材となっています。



MZ-004 甲州鞍馬石 水鉢
5寸・6寸・7寸・8寸・1尺



MZ-030 伊勢 水鉢
5寸・6寸・7寸



写真はイメージです。

※形状は自然石のためカタログの写真と異なります。



MZ-011 青石 水鉢
自然堀



MZ-020 銭鉢
1.0尺 (30kg) 1.8尺 (110kg)
1.2尺 (45kg) 2.0尺 (150kg)
1.5尺 (75kg)



▲寛からつくばいへと流れ落ちる水が、周りの化粧砂利を光り輝かせます



MZ-014 鉄鉢
1.0尺 (35kg) 1.8尺 (110kg)
1.2尺 (45kg) 2.0尺 (150kg)
1.5尺 (75kg)



MZ-015 菊鉢
1.0尺 (35kg) 1.8尺 (110kg)
1.2尺 (45kg) 2.0尺 (150kg)
1.5尺 (75kg)



MZ-016 四方仏
1.2尺 (85kg)
1.5尺 (170kg)
1.8尺 (290kg)



MZ-017 巾着型
1.2尺 (70kg) 1.8尺 (250kg)
1.5尺 (130kg) 2.0尺 (400kg)



MZ-018 ふくろう型
1.5尺 (170kg)



MZ-019 銀閣寺型
1.2尺 (110kg) 1.8尺 (320kg)
1.5尺 (270kg) 2.0尺 (400kg)



MZ-022 袈裟型
1.5尺 (200kg)
1.8尺 (280kg)



MZ-021 夏目型
1.0尺 (100kg) 1.8尺 (250kg)
1.2尺 (120kg) 2.0尺 (400kg)
1.5尺 (150kg)

※形状は自然石のためカタログの写真と異なります。

水鉢



MZ-029 石臼型
φ400×200 (30kg)



MZ-030 さかずき型水鉢
φ690×120 (50kg)



MZ-031 水鉢
φ600×180 (50kg)



写真番号：PH-220

井筒井戸 古ひきうす

井戸は古くから生活に欠かせない重要なものでした。この井戸を保護保安する設備として石で作った囲いのことを井筒と呼び、庭園に配置することによって水にまつわる物語が生まれ、景趣を添えます。

石臼は古くから穀類を粉状にするための器具でした。円筒形の上臼と下臼の二石からなり、上臼の穴から穀類を入れ挽いていたものです。



写真番号：PH-196



IZ-001 井筒井戸 石臼型
1.0尺 (180kg) 1.8尺 (800kg)
1.2尺 (220kg) 2.0尺 (980kg)
1.5尺 (440kg)



在庫限り

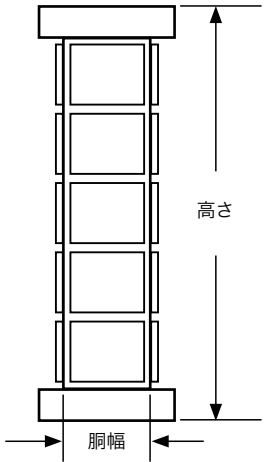
IS-001 古ひきうす (骨董品)
骨董品の為、大きさは個々に異なります。

※形状は自然石のためカタログの写真と異なります。

門柱



MO-001 五段門柱 石臼型
こぶ出し



門柱規格表	
胴幅×高さ	備考
1.3尺×6.0尺	1対
1.5尺×6.0尺	1対

束石規格表 (角)	
大きさ	天端×底辺×高さ
4寸角	120×170×180
5寸角	150×205×205
6寸角	180×250×240
7寸角	210×280×275

束石規格表 (丸)	
大きさ	天端×底辺×高さ
4寸丸	φ 120×172×185
5寸丸	φ 150×207×205
6寸丸	φ 180×246×235

束石 輸入御影石



TU-011 束石 角 磨き 白御影



TU-012 束石 角 磨き 錆御影



TU-013 束石 角 磨き 黒御影



TU-021 束石 丸 磨き 白御影



TU-022 束石 丸 磨き 錆御影



TU-023 束石 丸 磨き 黒御影

束石 国産品



TU-030 伊勢束石



TU-031 甲州鞍馬 束石

※形状は自然石のためカタログの写真と異なります。

置物



じゅうろじん
寿老人



べんざいてん
弁財天



ほていおしょう
布袋和尚



びしゃもんてん
毘沙門天



だいこくてん
大黒天



ふくろくじゅ
福祿寿



えびす
恵比寿



蛙



親子蛙



亀



招き猫

テーブル

落ち着いた存在感と石独特の自然の肌合いが他の素材にはない味わいです。庭や公園でゆっくりした時間が楽しめます。天然石で出来ているので雨・風に強く、屋外で半永久的に美しくご利用頂けます。



写真番号 : PH-197

※形状は自然石のためカタログの写真と異なる事があります。

石材の表面仕上げについて

自然から生まれた天然素材である石材は、経年変化に優れ、地層・産地によってそれぞれ表情が異なります。また、表面仕上げの方法によっても、高級感や温かさ、繊細なイメージと、石の持つ風合いが変わっていきます。

エクステリアとして、使用する環境にあった雰囲気演出するため、様々な加工方法により、素材の個性を活かしつつ仕上げていきます。



表面仕上げの種類



●本磨き

機械びきを行った後に、研磨機等により粗磨き、水磨き、本磨きの順に磨き、材質に応じた最上の光沢を出す仕上げ。



●バーナー

機械びきを行った後に、石材を加熱する事により石英、雲母、長石が別々膨張し表面から剥離する。この性質を利用して表面を粗面に仕上げる。



●ビシャン

石材の表面を鉄槌(40mm×40mm)前後の面を目割りしピラミッド型の刃が刻まれている)を使う事により表面に細かな点状の後を残す仕上げ。



●こたたき

石材の表面を一枚刃(この工具を両刃という)を使い表面に2mm前後の間隔で叩き平らに仕上げる。燈籠の仕上げに良く使われます。



●のみきり

石材の表面を先の尖ったのみと金槌で、削りながら平らに仕上げる方法。



●割肌

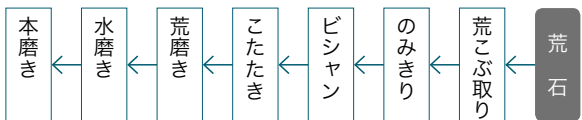
石材を割ったままの石肌。

石材の加工については、伝統的に図1のように、割肌状態の石材(荒石)の表面の凹凸を取り去り、次第に平滑にしたうえ、研磨して光沢を発揮させる状態(本磨き)に至る一連の作業として、それに使用する工具などの名称などによって示されている場合が多いようです。

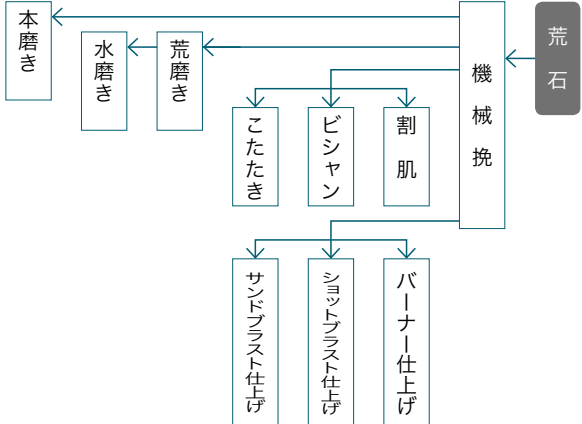
しかし、現在では、 GANGソーや丸鋸などの切断機械の発達により、石材は必要な形状寸法に挽かれた段階で、すでにその表面は、すぐ磨き作業に入れるほど平滑に仕上げるために、図2に示すように、ビシャンや小叩きのような、磨きの手前までの作業が不要になっています。

反対に、表面を粗面に仕上げるために、平滑な切断面にビシャンや小叩きを行う場合などがあり、図2に示した伝統的な各種の石材加工の名称は、石材の表面仕上げの程度を示す名称となっています。

手加工 図1

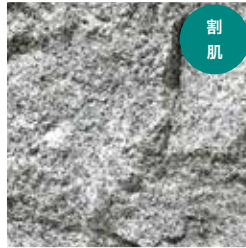
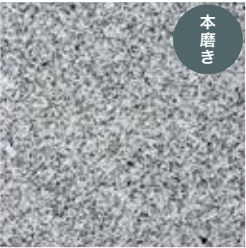


機械加工 図2



表面仕上げの比較

白 御影石



錆 御影石



※錆石は他の石材よりも色むらがあります。ご注意ください。

桜 御影石

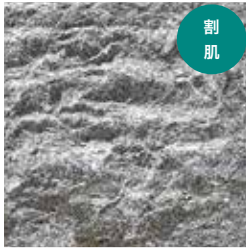
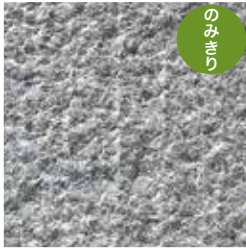
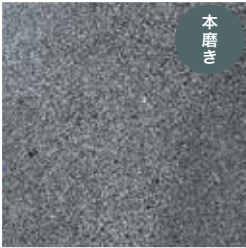




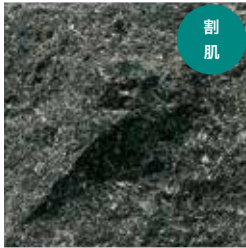
▲板石を縦長に使う事で通路が長く見え、周りの自然石と緑がより一層栄えます。

表面仕上げの比較

グレー 御影石



黒 御影石





写真番号：PH-199



写真番号：PH-201



写真番号：PH-200

▲広い敷地内も板石パーナーと板石のみきりの使い分けで、濃淡のある敷地に生まれ変わります。